

EPIgas[®]

取扱説明書

屋外使用専用

SPLIT ストーブ (自動点火装置付) <S-1026>

ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。
「取扱説明書」は大切に保管してください。

使用上の注意

⚠ 危険

- 調理以外の用途に使用しないでください。
- 夏の炎天下、河原や砂浜等の地面が熱くなる場所にカートリッジを直接置いて使用しないでください。
- 換気の悪いところでは使用しないでください。
- 燃焼中に移動したり、傾けたりしますと液状のガスが出て大変危険ですのでおやめください。
- 器具およびカートリッジを天ぷらガード等の風防で囲っての使用は危険です。絶対にしないでください。
- ランタンを吊して使用している場合、その下方でストーブの使用はおやめください。
- ホースが使用中、使用直後に直火やゴトクおよび器具全体に触れると高温のためホースを焼損させる恐れがあり、大変危険ですので十分ご注意ください。

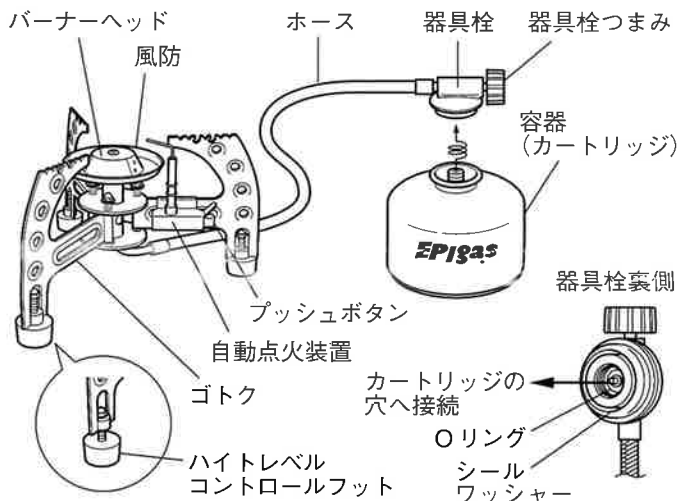
⚠ 警告

- 炭や焚火の火おこしなど、炭や木片等をのせての使用はしないでください。
- 2台以上並べて使用しないでください。
また、他の熱器具から十分離してください。
- ゴトクは常に水平にし、本体の安定を必ず確保してください。

⚠ 注意

- 燃焼中は強風や風向きに気をつけてください。炎があおられ下へ回ると器具・自動点火装置・ホース等が破損します。
- 自動点火装置が破損する場合があるので、器具を落としたり、衝撃を与えないでください。
器具の分解・改造はしないでください。
- 新品の商品でもバーナーヘッドの焼結部分が茶色に変色している場合がありますが、梱包前の燃焼検品による変色ですので、使用上問題ございません。また、煮汁などがこぼれて、焼結部分に付着したままご使用になりますと、黒色や緑色に変色する場合があります。使用上問題ございませんが、正常に燃焼しない場合は、お買い求めの販売店もしくは弊社までご連絡ください。

全体図・各部の名称



容器(カートリッジ)の取り付けかた

⚠ 危険

- 火気のあるところ、換気の悪い場所でのカートリッジの着脱は、引火事故につながる恐れがあり大変危険です。絶対に行わないでください。
- カートリッジは水平にして着脱を行ってください。カートリッジ着脱の際、構造上若干ガスが漏れることがあります。特にカートリッジを傾けて着脱しますと液状のガスが出て危険です。
- 容器の着脱の際、「器具栓とホース」および「ホースとバーナー部」の接続部、また自動点火装置のプッシュボタンに無理な力をかけないでください。

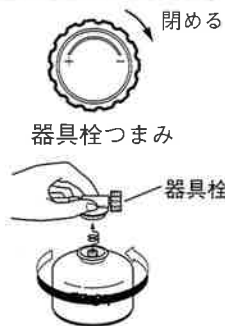
⚠ 注意

- 取り付け時のカートリッジの落下にはご注意ください。特にバルブ部の歪みは、正確な器具の取り付けがおこなえず、器具栓のネジ山を破損される恐れがありますのでご注意ください。

1 器具栓つまみを(-)側に回し、器具栓を完全に開けてください。

2 器具栓にカートリッジを接続してください。カートリッジを水平にして、器具栓をしっかり持って垂直に素早くねじ込んでください。(全体図・各部の名称、下図参照)

※カートリッジは自然に止まる位置よりややきつめに締めてください。



操作のしかた

1 点火

器具栓つまみを(+)側にゆっくり回し、ガスを少し出します。自動点火装置のオレンジ色のプッシュボタンを押して点火します。一度で点火しない場合は何回かプッシュボタンを押してください。その際、確実に点火したことを確認してください。

※点火の際、ガスの出しすぎに注意してください。

※点火の際、ガスが出ないときや燃焼の途中でガスが止まってしまった場合は、器具栓つまみを(-)側にもどし、器具栓とカートリッジを増し締めし、再度点火してください。

2 火力調節

器具栓つまみの操作で火力の調節ができます。火力を上げるときは(+)側に、下げるときは(-)側にそれぞれ器具栓つまみを回してください。



3 消火

器具栓つまみを(-)側に回し、完全に火が消えるまで閉じてください。

その際、確実に消火したことを確認してください。

⚠ 警告

- なべ・フライパン等はゴトクに無理なく載せられるものを使用してください。他の補助器具を必要とする大なべ・鉄板・鉄鍋等は危険ですから使わないでください。
- 異常な熱が下へ回る状態、状況での使用はおやめください。異常な熱が下へ回りますと、器具・自動点火装置・ホースが破損しますので注意してください。自動点火装置やホースが破損した場合は、有償修理にてお取り替えできます。また、異常な温度上昇によるカートリッジのバルブの破損はガス漏れ事故につながりますのでご注意ください。
- 使用中、使用直後はやけど防止のためバーナーヘッド部やゴトク部分には触れないようご注意ください。また、使用直後に再点火する際は、ゴトクの足回り、自動点火装置回りは高温になっている恐れがありますので、火傷には十分ご注意ください。
- 燃えやすい物や熱に弱い物から、十分離して使用してください。
- 使用中は時々正常に燃焼していることを確認してください。
- 万一ガス漏れや異常燃焼をおこした場合は、器具栓つまみを閉じて完全に消化したことを確認した後、カートリッジを外してください。その器具をそのまま使用するのは非常に危険ですのでおやめください。必ずお買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。
- 底面が凹型のコンロに覆い被さるような形状の円盤型トースター、焼きあみ・魚焼き器(セラミック製など)、鉄板・鉄鍋等の調理器具を使用しないでください。

⚠ 注意

- 自動点火装置やガスの特性により、高所や低温時、または気象条件によって、自動点火装置で点火し難いことがあります。実際の山行やキャンプでは念のため、必ず予備のマッチやライター(電子式でないもの)を携帯してください。

容器(カートリッジ)の取り外しかた

1 火が確実に消火されていることを確認してください。

2 カートリッジを水平に保ち、取り付け時と逆方向にカートリッジを回し、器具を垂直に素早く取り外してください。

※容器の着脱の際、「器具栓とホース」および「ホースとガスバーナー」の接続部、また自動点火装置のプッシュボタンに無理な力をかけないでください。

※カートリッジを取り外すときに手応えが多少重く感じることもあり、外れる瞬間に音と共にガスが微量抜けることがあります。これは、液状のガスを極力外に漏らさないようにする、EPI独自の特殊構造のシールワッシャーを採用しているため、器具の故障ではありません。

点検・掃除のしかた

⚠ 危険

- ご使用前にOリング・シールワッシャー・ホースが良好な状態で、正しい位置にあることを確認してください。
磨耗、損傷、変形等しているとガス漏れのおそれがあり大変危険ですので、お買い求めの販売店に部品の交換修理を依頼してください。特にOリングはガス漏れを防ぐ大切な部品なので定期的に交換することをお勧めします。

⚠ 警告

- 故障または調子の悪いものをそのまま使用するのは危険です。異常や不審な点が認められたときは、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。

1 日常の点検・掃除は必ず行ってください。

2 煮こぼれやゴミ等により、バーナーヘッドおよび器具栓内のノズルがつまり、ガスが出なくなることがあります。

その際は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

特にバーナーヘッドは、布やティッシュ等で拭いたり、擦ることは絶対におやめください。破損の原因となります。

収納・保管のしかた

⚠ 注意

- 器具とカートリッジは取り外して専用ケースに収納し保管してください。収納、保管する際は器具が完全に冷えていることを確認してください。収納する際、カートリッジはキャップをし、40℃以下となる湿気の少ない場所に保管してください。保管されているカートリッジは時々点検し、錆が発生している場合にはできるだけ早く使用してください。
- 使用直後の器具が熱いうちは、ホースを器具に巻き付けて収納しないでください。
- 収納の際、「器具栓とホース」および「ホースとバーナー部」の接続部、また自動点火装置のプッシュボタンに無理な力をかけないでください。

容器(カートリッジ)の使用上の注意

1 収納する際は器具とカートリッジは必ず取り外してください。また器具等に付いた異物や水滴等の汚れも取り除いてください。

⚠ 危険

- 使用中、使用済みのカートリッジを火中には絶対入れないでください。
- 使用済みカートリッジにガスを再充填しないでください。
- 空になったカートリッジでも取扱方法を誤ると爆発の危険性があります。
- 使用済みカートリッジは必ずお持ち帰りください。
- 使用済みカートリッジは残ガスがないことを確認してください。残ガスがある場合にはガス抜きをし、残ガスがないことを確認し、地方自治体の廃棄方法にしたがって処分してください。
- カートリッジを炎天下に放置したり、直射日光に当たる車内(トランクルーム・ダッシュボードを含む)や室内に放置したりしないでください。爆発の原因となります。

⚠ 注意

- EPIgas 230gの容器をご使用してください。
- EPIgasの表示のある専用容器を使用し、それ以外のものをご使用にならないでください。万一他社製品と組み合わせて使用して事故が起きても、当社では一切責任を負いません。

EPIgas カートリッジの特長

1 EPIgasカートリッジはすべて高性能の自動閉鎖バルブを使用していますので、ガスが残っている間は何回でも着脱使用が可能です。またEPIgasカートリッジは他のすべてのEPIgas器具と共用できます。収納する際も本体とは別にでき、ガス漏れの心配は全くありません。

2 EPIgasカートリッジは肉の厚い金属板を使用していますので安全性は非常に高いものです。

ストーブの特長

1 バーナーヘッドにSINTERED FIBER POROUS METAL(シタードファイバーポーラスメタル)を採用したことにより、多数の微細炎口を持ったバーナーヘッドを完成させました。これにより軽量コンパクトながら高出力を可能にしました。

2 バーナー部とカートリッジが分かれているため、低重心で安定性があります。

3 EPI独自の制御スピンドルによる、ガス流量調節機構「マイクロアジャスト機構」が付いていますので、弱火から強火まで有効に利用できます。

4 ハイトレベルコントロールフットは、本体を水平に保つために、ゴトクの高さが調節できます。(全体図・各部の名称参照)

※自動点火装置・プラスチックケース付

仕 様	
品 名	カセットこんろ(分離型)
品 番	S-1026
型 式	SPLIT 型
寸 法	188mmφ × 94mmH
重 量	234g

※EPIgas製品は生産物賠償責任保険に加入しています。
※この取扱説明書は再生紙を使用しています。



ユニバーサルトレーディング株式会社

〒332-0004 埼玉県川口市領家2-16-26 TEL048-225-7756 FAX048-225-8256